

各 位

2003年4月15日

イー・アンド・アイ システム株式会社  
株式会社マネースクウェア・ジャパン

## A & Iシステム、マネースクウェア・ジャパンの 外国為替証拠金取引事業のIT基盤整備で業務提携

イー・アンド・アイ システム株式会社(社長:岡良貴、本社:東京都中央区、以下A & I)は、株式会社マネースクウェア・ジャパン(社長:山本久敏、本社:東京都品川区、以下m<sup>2</sup>J)と自社のIDCサービス、金融システム構築において技術面および運用面でのノウハウやインフラを提供することを目的とした業務提携に合意しました。

A & Iは、大手都銀や信販、生保などの金融業、各種サービス業において多種多様なシステム構築やシステム運用の実績と独自ノウハウをもち、自社のIDCによるアウトソーシングサービスを提供しています。

一方、m<sup>2</sup>Jは、1998年の外為法改正により輸入された証拠金方式の外国為替取引を、日本国内の投資家へひろく啓蒙し事業展開するベンチャー企業で、現在同社は、投資商品『iFX Style』<sup>1</sup>を、この新しい投資市場の成長を促すサービス基盤として提供し、IT化を通じた情報系と基幹系基盤の整備を推進しております。

この度の業務提携によってm<sup>2</sup>Jでは、A & IのIDCへシステム運用をアウトソーシングすることを手始めに、さらに充実した投資商品の市場環境を実現することが可能となります。

また、外国為替取引市場の形成には、その取引業務ノウハウと金融系システムに求められる信頼性や可用性の実現などに熟知したSI企業によるシステム構築と運用が不可欠であり、m<sup>2</sup>Jの持つ業務ノウハウとA & Iのシステム構築ノウハウの交流により、新しい投資商品と金融サービスが日本国内の投資家へ提供されることとなります。

特に、A & Iがm<sup>2</sup>Jに対して下記のシステム環境を提供したことによって、m<sup>2</sup>Jが4月1日よりリリースした『iFX Style』の投資家へのサービスが安定して供給することが可能となりました。

今後『iFX Style』をベースとしたB to B to Cモデルにも対応予定(計画中)で、IB<sup>2</sup>形式から、OEM形式、あるいは完全独立型CP<sup>3</sup>モデルも、さまざまなニーズへのカスタマイズが可能となります。

『iFX Style』のシステム環境と主な特徴は以下のとおりです。

『iFX Style』のシステム環境(A & Iの大型データセンターによる稼働安定性)

### 国内第一級のデータセンターでシステム運用

『iFX Style』を24時間365日ノンストップで運用するために、日本IBM(株)の設計・施工によるA & Iのデータセンターにてシステム運用しております。当データセンターは冗長構成の電源、空調設備、高感度煙感知機やアルゴナイトガス消化設備を有し、また、震度7クラスの地震に耐えうる建物設計となっております。尚、当データセンターは、財務省による地震保険の地震発生リスク評価により、地震・噴火発生リスクの最も低い1等地にあり、東海地区、首都圏にて近年起こりうる大地震の際も影響を受けることがありません。

### アプリケーションサーバー

IBM xSeries345、及びハードウェア・ロードバランサーにより、拡張性の確保、及び冗長構成を実現しております。ロードバランサーの機能として、負荷分散、及びデータの暗号化(SSL)を行っており、サーバーに負荷をかけることなく、非常に高度なセキュリティを実現しております。

### データベースサーバー

IBM xServer360、及びクラスタソフトによる冗長構成を実現しております。万が一、サーバーに障害が発生した場合、スタンバイ機が瞬時に立ち上がり、システムストップを最小限に抑えることが可能となっております。また、お客様の大切なデータは二重化されたIBMストレージ・サーバーにて管理しており、万が一の障害の際もデータを消失することなく、スムーズに障害回復できる仕組みとなっております。

『iFX Style』の主な特徴 (A & IのIT基盤がm<sup>2</sup>Jの投資環境の向上をサポート)

業界初のFlash<sup>\*4</sup>を用いたユーザーインターフェイス

金融取引のプラットフォームでは珍しい動画を駆使したFlash採用のユーザーインターフェイス。動画による発注支援機能がユーザーとの距離を縮めます。

日本初の選択型証拠金率制度の採用 (特許出願済み)

証拠金率による投資効率 (レバレッジ) を4段階にセグメント。投資戦略、市場環境、リスク分散等、投資家自身の運用スタイルに最適なレバレッジを取引ごとに任意に選択できる柔軟設計となっております。

MIXINGアーキテクチャ<sup>\*5</sup>に基づく統合リアルタイム処理

個人投資家にとってより有利なベタープライス提示機能 (特許出願済み) や400パターン以上もの相対約定ケースを網羅した自動約定執行や各投資家の証拠金勘定などをリアルタイムに実行するMIXINGアーキテクチャを採用。急激な相場変動時にも確実な処理を自動実行し人的作業に伴うミスやタイムロスを排除。入出金・デリバリー・指値成立通知・マージンコール時の対応は全てオンライン。メールによるマージンコール予告、さらにマージンコール発生時には、証拠金充当可能分のみを残して自動決済を実行します。

(注)

\*1 選択型証拠金率制度 (特許出願済み) を採用したm<sup>2</sup>Jの外国為替証拠金取引サービスの総称。

\*2 インTRODUCINGブローカー (Introducing Broker) : 顧客と外為取次業者間において注文受注を行う業者。

\*3 カウンターパーティー (Counter Party) : 取引の相手方のこと。

\*4 米 Macromedia が開発した音声やベクター画像を組み合わせた Web 用コンテンツを作成するソフト。

\*5 『iFX Style』のために新たに開発されたシステム基盤で、Moneysquare Integrated eXchange for Internet to the Next Generation の略称。

## エー・アンド・アイ システム株式会社概要

設立: 1987年5月

社長: 岡 良貴

本社所在地: 東京都中央区日本橋箱崎町1番2号

TEL: 03-5640-6900

FAX: 03-5640-6995

資本金: 7億3,103万円

売上高: 97億円 (2002年3月期)

社員数: 629名 (2003年4月現在)

主要株主: 三菱商事(株)、日本アイ・ピー・エム(株)、富士ソフトエービーシー(株)

上場: 大阪証券取引所ヘラクレス市場 2000年7月 (コード番号: 4773)

特色: ITのトータル・ソリューション・プロバイダーとして、コンサルティング、設計、開発、運用、保守の情報システム構築の全工程において、インテグレーションおよびアウトソーシングなどの形態でサービスを提供しています。2001年5月、IDC/ASP事業の推進を目的として福島県喜多方市にインターネット・プロダクション・センター (IPC) を建設。セキュリティ管理機能、設備環境基準を十分に満たした国内第一級のデータセンターとして24時間365日連続稼働を実現しております。同センターの主たるお客様には喜多方市役所様があります。

## 株式会社マネースクウェア・ジャパン会社概要

設立: 2002年10月

社長: 山本 久敏

本社所在地: 東京都品川区東五反田4丁目6番6号

TEL: 03-5421-4141

FAX: 03-5421-3795

資本金: 1億2995万円

社員数: 14名 (2003年3月期)

特色: 外国為替取引の専門企業として、外国為替取引、外国為替オプション取引のマーケットメイキング業務、外国為替取引、外国為替オプション取引などの受託、取次、媒介業務、外国為替業務に係わるコンサルティング、海外運用に係わるガイダンス及びコンサルティングなどのサービスを提供しており、2003年4月1日より業界初のFlash採用の画期的なオンライントレードシステム (特許出願済み) がスタート。また、相場環境とリスク度に応じて4つのスタイルから投資家が自分に合った形式の取引を選ぶことができる選択型証拠金率制度 (特許出願済み) を採用した『iFX Style』をリリースした。

本件に関するお問い合わせ先

[A & I] 広報ファンクション・マネージャー: 山崎、中央区日本橋箱崎町1-2

TEL: 03-5640-6900 FAX: 03-5640-6995 E-mail: [syamaza@aandi.co.jp](mailto:syamaza@aandi.co.jp) HomePage: [www.aandi.co.jp](http://www.aandi.co.jp)

[m<sup>2</sup>J] 広報担当: 藤森、品川区東五反田4-6-6

TEL: 03-5421-4141 FAX: 03-5421-3795 E-mail: [fujimori@m2-j.com](mailto:fujimori@m2-j.com) HomePage: <http://www.m2-j.com>